

# HDD復旧業者って ぶっちやけどうなの?

大事なデータが詰まったHDDが壊れてしまったけど……

## 実際の復旧作業ってどんなもの? 作業現場に潜入!

軽度の障害ならアプリで十分復元できる

見積もりは早ければ当日中 復旧も3日~5日で完了する

実際の復旧作業はどんなものなのか、特別に復旧の現場を見せてくれた。作業は明確に分業化され、製品到着から納品まで長くても1週間、見積もりは早ければ当日出せるとの話だ。

実際の作業は有料 ← ここまでは無料で診断

ストレージ内をブロック単位で検査&復元。2TBで約40億個のブロック数だ

必要に応じてHDDなども分解。パーツを交換などで読める状態にする

機器を分解してストレージ部品を取り出す。どんな機器でも分解できる

全国から送られてきた機器は整然と並べられ、厳重に管理されている

## 取材してわかった! AOSリーガルテックはココがスゴイ!

あらゆるHDDに対応できる万全の体制

2重のセキュリティで個人情報を管理

依頼側として心配なのは金額・技術・セキュリティの3点。金額は定額&低額を導入しており、残りの2点に関してもしっかりと文句ナシ。できることをすべて実施している印象だ。

部品を交換して読める状態にするため、社内に大量のHDDをストック。分解はホコリを完全に除去したスペースで行われる

社内に入るドアには指紋認証のセキュリティを設置。さらに、奥の作業ブースに入るには再び指紋認証が必要となる

## 2年前から定額&低額を導入している 復旧業者AOSリーガルテックさんに取材

普段からパソコンを使っている人ならば、データ復旧業者の存在は知っているだろう。しかし、その実態は外からはわかりにくく、ボツクられたなんて話もちらほら耳にする。そこで、大事なデータを守る最後の要ともいえる復旧業者に突撃取材を敢行。訪れたのは2年前から定額制を導入している「AOSリーガルテック」。執行役員 林氏に、データ復旧業界の現状をうかがってきた。結論からいうと、残念ながら業界自体には、いまだ不透明な業者のイメージも残っているとのこと。しかし、外付

バッファローの参入で 復旧がより身近に!



今回取材に応じてくれたのは東京都港区にある復旧業者「AOSリーガルテック」。林執行役員に業界の現状を聞いてきた

けHDDの販売シェアでナンバーワンのバッファローが5月1日より開始した公式のサービス「バッファローデータ復旧センター」により、業界全体に転機が訪れているという。家電は故障したらメーカーや販売店に修理を頼むのには、データはこれまででそうではありませんでした。でも、家電と同じようにメーカーや販売店にデータ復旧を頼めるようになってきたんです」と林氏は語る。実際、AOSリーガルテックでも多くのメーカーや量販店と提携しており、公式の窓口で依頼された復旧作業をまかされているという話。つまり、自分で復旧業者を探さなくても、メーカーや購入した量販店に対応してくれるのだ。これはユーザーにとっては大変ありがたい話。今後、データ復旧はもっと身近な存在になりそうだ。

## 重度の障害でも20万円以下! 怪しい業者に騙されるな!

これがAOSリーガルテックのデータ復旧費用の目安だ!

機器(媒体)	障害レベルと症状・障害内容	目安価格(税別)
パソコン 外付けHDD	軽度 電源が入らない、画面が割れている、水濡れ	5万8000円
	中度 起動しない、画面が青または黒いまま、エラーメッセージが表示、省電力モードで立ち上がらない	9万8000円
	重度 削除・初期化してしまった、フォーマット・リカバリーしてしまった、HDDを認識しない、HDDから異音が出る、その他の障害	19万8000円
ビデオカメラ タブレット	軽度 電源が入らない、画面が割れている、水濡れ、水没	5万8000円
	重度 削除・初期化してしまった、起動しない、メモリを認識しない、その他の障害	9万8000円
スマホ 携帯電話	軽度 画面割れ、水濡れ、水没、筐体破損	4万8000円
	重度 削除・初期化してしまった、電源が入らない、起動しない、その他の障害	9万8000円
USBメモリ SDカード	軽度 メディア(媒体)は認識するがデータが見えない	3万8000円
	中度 削除・初期化してしまった	7万8000円
光学メディア	軽度 メディア(媒体)を認識しない	9万8000円
	CD(1枚あたり)	2万2000円
	DVD(1枚あたり)	4万4000円
	BD(1枚あたり)	5万4000円

上の表は、今回取材したAOSリーガルテックのデータ復旧費用の目安。重度障害でも20万円はしない。なお、復旧費用とは別に復旧したデータをコピーするための納品媒体費用はかかるが、こちらは容量別となる。しかし、最大の4TB外付けHDDでも2万2000円程度だ

## 重度障害でも20万円以上の請求額なら ボツクリが再委託の可能性が高い!

いまだ不透明な業者もあるため、まだまだ注意は必要。自分で業者を探す場合は、下記に注目して騙されないように気をつけよう。

- ▶容量によって価格が変わる  
作業工程は容量に関係なく行われるので、容量で価格が変わること自体がおかしいとのこと
- ▶見積もりに料金がかかる  
業界的に見積もりは無料が鉄則。少額でも見積もりが有料の業者は止めたほうが無難だろう
- ▶「実績」に一流メーカーのロゴ  
正規提携ではなく「実績」としてロゴを載せている業者は要注意。特に商標権に厳しい「SONY」表記のロゴがあったらアウト。無断で載せている場合がほとんど

## HDDクラッシュ対策として 覚えておきたいポイント

HDDのクラッシュに備えて、購入時や日常的に役立つポイントはいくつかある。大事なデータをしっかり守るために、頭の片隅に置いておくといいだろう。

重要なデータは2カ所に保存する  
重要なデータはHDDをパーティション分けて、2カ所に保存しておくのがベストだ  
光学メディアよりHDDのほうが安全  
光学メディアは太陽光や傷に弱い。最近のHDDは高品質なのでHDDに保存したほうが安全だ  
SSDのほうが物理障害は少ない  
可動部品がないSSDは物理障害が圧倒的に少ない  
購入時はNAS向け製品を選ぶ  
HDD購入時はWestern DigitalのREDシリーズなど、信頼性が高い製品を選ぶのがポイント  
データ復元保証付きかどうかを確認  
最近ではデータ復元保証付きの製品もあるので、購入時には公式の対応を必ず確認しておく

## 実際にHDDが壊れたときには? 復元アプリは使ってOK?

軽度~中度の論理障害ならアプリで復元可能

重要データは通電もNG! 個人ならアプリでもOK

実際にHDDが壊れた場合、内部のデータが重要なら、通電もその情報が書き込まれてしまうのでNG。個人のデータ削除やフォーマットミスなどなら、復元アプリを使ってOKとの話だ。

インデックス管理部分  
ファイルを消してもインデックスが削除されるだけで、実データは残っている。通電で書き込まれる可能性も

実データ保存部分

AOSテクノロジーズ ファイナルデータ11+ 特別復元版  
実勢価格▶9046円(パッケージ版)/7970円(ダウンロード版)

画面に従って削除ファイルのスクリーンショットと復元を行うだけ。ブート可能なUSBメモリの状態で販売されている